



どうなるこれからの 遠野の観光振興

荒川 栄悦 議員
(清風会)

答

遠野市進化管理
づくり検証委員会

問 遠野市進化管理
づくり検証委員会
の答申による、持ち株会
社「遠野まちづくり連携
センター」の具体像と観
光協会のあり方は。

の答申による持ち株会
社「遠野街づくり連携セ
ンター」の具体像は、①
人事の柔軟化、②資金の
有効活用をはじめとする
スケールメリット、③市
の将来像の共有とオール
遠野としての地域経営戦



(仮称) まちづくりセンター完成予想図

略の共有、④産業振興、
観光振興に関わる有効な
市とのパートナーシップ
の構築が大きな見直しの
柱である。しかし、組織
の性格をあらかじめ限定
せず、幅広い見地からの
検討を行う必要があると
考える。この仕組みづく
りについては、平成25年
度を目処に完成をさせた
い。

観光協会については、
遠野市進化管理づくり検
証委員会の提言により、
①同協会の役割・目標が
曖昧であることから、む
しろ、観光ビジョンの
策定、総合的・戦略的な
観光振興のリーダーとし
て、中核機能を担う機関
として再編すべきと思料
する。再編後は「観光情
報センター」としての機
能に特化し関係機関・団
体との機能分担を明確に
されたい。この視点で、
市と同協会は双方協議の
上、抜本的な見直しを行
われない。(2)再編の際
は、公益法人を目指すこ
ととし、市の補助に依存
し過ぎず、自立した経営

計画・戦略を策定し、強
い経営体を確立してビジ
ネスとしての観光振興策
を追及されたい、等々と
指摘を受けた。

また、観光交流セン
ターの完成を待ち、岩手
ディスプレイネーション
キャンペーン、柳田國男
没50年の取り組みに繋が
ていく必要があり、その
ためには、情報発信力の
強化、観光資源の特定と
活用、総合案内等の受け
入れ体制の強化等も喫緊
に取り組む必要がある。
また、国土交通省観光庁
の事業である遠野観光地
域づくりプラットフォーム
ム推進計画の策定とし
て、ワークショップ会議
を3回開催した。着地型
旅行のモデル商品の開発
をし、有効性を検証し、
遠野型観光を推進するた
めの組織と機能を確立し
たい。これらの提言や課
題に対応するためには、
観光協会の果たす役割に
ついて抜本的かつ現実的
な見直しを行う必要があ
ると考える。